

県下の交通事故 (8月31日現在)

区分	発生件数	死者	傷者
年別			
平成3年	3,399件	74人	4,614人
" 4年	3,285件	92人	4,347人
比較	-3.4%	+24.3%	-5.8%



◇ 第97号 ◇
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827

秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～9月30日(水)

高齢者の事故防止

無謀運転追放も重点

秋の行楽シーズンを迎え、交通量が増加し交通事故の多発が懸念されることから、県民ひとりひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として九月二十一日から十日間、全国一斉に「秋の全国交通安全運動」が実施されます。

スローガン

ふれあいと ゆとりでつなごう 無事故の輪
 交通安全は 家庭と職場と地域から

重点目標

- 1 高齢者の交通事故防止
- 2 シートベルトの着用の徹底
- 3 違法駐車締め出し (以上は国の交付本部決定事項)
- 4 若者による無謀運転の追放
- 5 暴走族追放運動の推進 (以上は県の交付本部決定事項)

主な推進事項

- 1 高齢者に対する交通安全教育・指導、特に正しい歩行及び横断方法
- 2 自転車の正しい乗り方指導
- 3 高齢運転者に対する運転適性診断
- 4 街頭における啓発・指導
- 5 高齢者に対する訪問指導及び事故実態に応じた効果的な参加型・体験型等の実践的教育
- 6 家庭、地域等における交通安全についての話し合いの促進
- 7 反射材等交通安全用具の効果の周知と普及及び活用の促進

保護活動

- 1 若年運転者の特性に応じた交通安全教育・指導
- 2 ヤングドライバーズクラブ及び二輪車クラブの結成促進と指導育成
- 3 車線の遵守と安全な車間距離の保持
- 4 夜間における安全運転
- 5 街頭における指導取締り
- 6 暴走族追放運動の推進
- 7 暴走族の反社会的性の周知徹底など指導・教育
- 8 暴走族追放三原則「暴走をしない・させない・許さない」の徹底
- 9 暴走行為をみたら一〇〇番通報するなど、地域ぐるみで暴走族追放
- 10 その他の推進事項



深夜、カーブでスピードの出し過ぎ

山梨県内における交通事故の発生状況は、安全のためには、交通安全の推進関係者のご努力も空しく、八月三十一日現在 発生 三、二八五件 死者 九二人 傷者 四、三三七人で昨年、同期に比較して発生件数 一四四件減 死者数 一八人増 傷者数 二六七人減となっており、死者は過去十六年間で最も多かった昨年(年間一三〇人)のペースを大幅に上回っており、憂慮すべき状況にあります。

この死亡事故の特徴をみると、シートベルトの着用率が極めて低い。自動車同乗中の死者が多い。若者が第一当事者の事故が多い。高齢者の死者が多い。深夜から明け方にかけての事故が多い。一などとなっており、これらの特徴を有する死亡事故に対する対策について

乗る人にベルトをさせる思いやり

これは、山梨県、県警、安協など関係機関がそれぞれ立場から対策を樹立し推進しているところであり、その対策を有機的に推進することが必要かと思えます。この考えに立つての交通安全防止の作戦の一つが「シグナル作戦」です。

幅広くシグナル作戦

県警交通部参事官 小池 正一

この「シグナル作戦」とは、シグナルを信号機と狭義に解釈することから、しるし(印、標、徴)までの広義に解釈して、この語義に包括される交通安全対策の総称を「シグナル作戦」と旗の下に連携させ、より有機的に推進し、その活動の活発化を図り効果を高めよう

配布。●目に訴える各種の広報活動。●「ブロックサイン」による交通指導。●この作戦は交通安全対策の推進機関だけの作戦ではなく、各家庭、職場においても実施して頂きたいのであります。



それぞれの家庭にあっては「我が家のシグナル作戦」、職場においても「我が社のシグナル作戦」を樹立して欲しいのであります。例えば、子供や高齢者のいる家庭においては、必ず手を上げて(シグナル・合図)左右を確認後横断する作戦。●夜間、徒歩又は自転車等で外出する時は、自動車の運転者に判るよう灯火、反射材を付けること。これらを行うことで、交通安全意識を高めて、効果を期待できます。

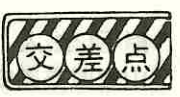
て行くことだと思えます。そしてその意識付け・教育の原点が家庭であり、家庭から地域、職場へと発展させて行くべきであろうと思えます。即ち「総ての教育の原点は家庭」「教育は早いほど効果大」「教育効果は家庭から地域へ拡大」だと思えます。このように重要な家庭であるからこそ、会社等においては、安全運転管理者が中心となって、ゆとり運転と早めの合図運動。●ポンピングブレーキの活用。●などを推進することもシグナル作戦の一つであろうと思えます。家庭においても、会社等であっても、単に交通安全について、何をすればよいか尋ねるよりは、シグナル作戦のように、一つのテーマを捉え、それを皆で考えていくことの方が参加意識を高め、効果を期待できます。

この「シグナル作戦」とは、シグナルを信号機と狭義に解釈することから、しるし(印、標、徴)までの広義に解釈して、この語義に包括される交通安全対策の総称を「シグナル作戦」と旗の下に連携させ、より有機的に推進し、その活動の活発化を図り効果を高めよう

交通安全は、見えること、見せること



筆者の懐旧談を一つ。「事故半減千日作戦」今から十七年前某署で交通事故防止対策として設定した交通安全活動の目標でありました。千日(約三年間)に半減ということは、一年間に前年の約二〇%を減らしてゆけば、三年後にはおおむね三年前の半分になるわけで、この目標に向けて、広報・教育・指導取締り・施設整備等各面



これを訴え、印象づけ地域の人達に参加してもらいました。▼結果は、三年前の一九三件から一〇三件とほぼ目標を達成できました。▼前号の本欄で筆者は、交通安全活動を地道に続けているからこそ、交通事故も現状程度で抑えられているのだから、更に努力してゆきましようという意味のことを述べました。とかく交通安全運動のマンネリ化が取り沙汰されますが、交通安全に創意と努力が必要ですよ。というところで本筋に入ります。前略(どんな場合でも目標を持って何かすること、目標を持たずに成り行きに任せて漫然と行うこと)とは、目標を持っていた方が高い成果をあげ易いし、やりがいもある(後略(産業能率大学 幸田一男教授)前略(仕事に目標を定めること、積極的に日々の行動に活力が生まれてくる(後略(長坂警察署 古屋二六署長)お二人の言葉は、県警機関誌「やまかい」からお借りしました。▼全国交通安全運動の重点目標が定められました。このうち、地域の実情に応じた目標に

高齢者交通安全旬間

9月11日(金)～9月20日(日)

本年上半期、県内で高齢者(六十五歳以上)がかかわった交通事故は、二百八十六件で全事故の二二%、死者は六人で全体の九・八%、傷者は二百七十四人で全体の八・八%で前年同期と比べて、件数、傷者は増加しましたが、死者は十八

減と大幅に減少しました。死者は、歩行者三人、自転車乗用中二人、原付自転車乗用中一人となっていました。

◎旬間実施目的
近年における高齢者の交通事故の増加傾向に鑑み、高齢者の交通安全に



安全に渡りましょう

する県民の意識を醸成するとともに、高齢者自身の交通安全知識の向上と交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールと交通マナーの実践を促進することによって、高齢者の交通事故防止の徹底を図る。

◎テーマ
「高齢者の交通事故ゼロ」をめざして

◎重点目標
一 高齢者の交通安全に関する県民の意識の醸成
二 高齢者の歩行中(特に横断中)及び自転車乗用中の交通事故防止
三 高齢運転者の交通事故防止

なお、市町村においては

暴走族対策へ規定整備

改正道交法のポイント

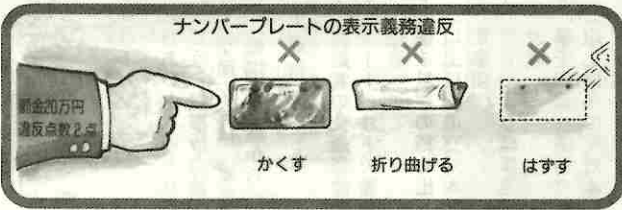
交通 相談

わが国の運転免許保有者数は、平成三年末で六、二六〇万人、自動車の保有台数も七、九八〇万台に達して道路交通量は増加の一途をたどっています。また、交通の質的な面も多様化して車社会は複雑化しています。さらに、交通事故による死者数は平成元年以来三年連続して一万一千人を突破して、きわめて憂慮される事態となっています。

このような厳しい交通情勢を踏まえて、ことし五月六日、道路交通法が、また六月二十六日、同法施行令が改正公布されました。本紙では、改正法令のポイントを二回にわたって、解説します。

◇暴走族対策に関する規定の整備(平成四年八月一日から適用)

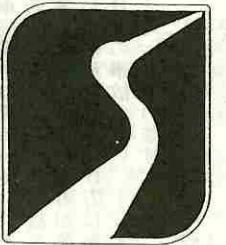
(1) 消音器を取り外した自動車又は原動機付自転車や、切断したり、芯抜きをしたり、穴をあけたりするなどの改造等を加えた消音機を備えた自動車又は原動機付自転車を運



転することは禁止されます。この規定に違反した場合は、二万円以下の罰金又は科料に処せられます。また違反行為に対する基礎点数は二点、反則金の額は、大型車六千円、普通車又は二輪車四千円、原動機付自転車三千円です。

△高齢者交通安全マークVシルバード及びセフティの頭文字「S」を鶴のイメージにデザイン化し、道をも暗示すると共に美しい自然の中をいつまでも若々しく健康で交通安全を願う姿がシンボライズされたもので

関係団体との連携により、九月十五日の「敬老の日」を中心に開催される諸行事の中に「交通安全コーナー」の設置や「ミニ交通安全教室」の実施などを積極的に取り組み、本旬間の趣旨と交通事故防止の徹底を図ることとしています。



(2) ナンバープレート(自動車登録番号標及び車両番号標)を取り外したり、折りまげたり、隠すなどして自動車を運転することとは禁止されます。この規定に違反した場合は二十万円以下の罰金に処せられます。また、この違反行為に新たに基礎点数二点が付されることになりました。

◇法定速度の改正(平成四年十一月一日から適用)
これまで標識等で特に示されていないときは、一般道路(高速自動車国道は本線道路以外の道路)における自動車の最高速度(いわゆる法定速度)は高速車と中速車に区分され、高速車は六〇%、中速車は五〇%と決められていました。しかし、その後の自動車の性能の向上等を踏まえて、自動車の法定速度は一律に六〇%と改正されました。ただし、原動機付自転車の法定速度についてはこれまでどおり三〇%です。

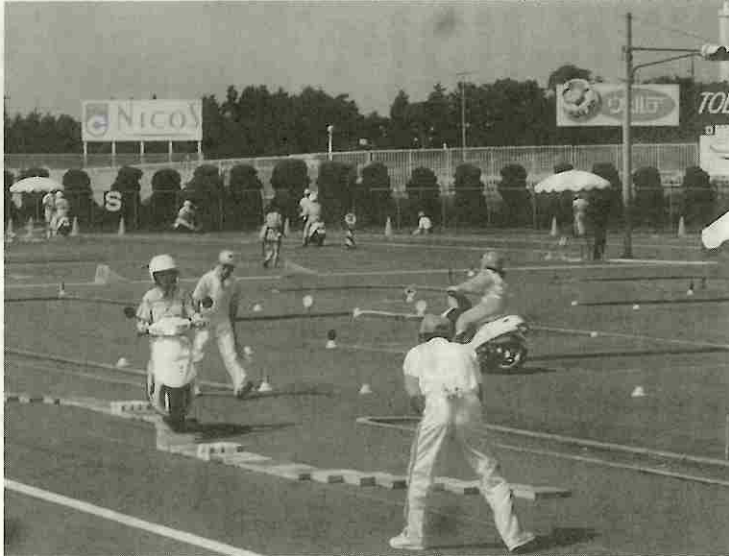
窪田圭司君が満点賞に輝く

第二十七回交通安全子ども大会

も自転車全国大会は、去る八月六日、七日の二日間にわたって、東京で開催されました。この大会は、小学校教育を高めるために、交通安全ルールや自転車の安全な乗り方を身につけ習慣化することにより、この交通安全事故を防止することを目的として毎年行われています。

本県からは、前号で紹介しました県大会で優秀な成績をあげた高根町立高根東小学校チームが出場し、全国各都道府県から選ばれた四十六チームの選手と筆記テスト、安全走行テスト、技能走行テストに知識、技能を競いました。

結果は、団体では十七位と惜しくも入賞には至りませんでした。個人で窪田圭司選手が、学科、安全走行、技能走行で減点ゼロの満点賞をとり、原藤貴史選



本県チームが健闘

二輪車安全運転全国大会

第二十五回二輪車安全運転全国大会は、去る八月一日、二日の両日、三重県鈴鹿サーキットにおいて行われました。本県からは、前号で紹介しました女性クラス 矢島 利美 高校生クラス 河西 信児 一般Aクラス 土屋 拓也 一般Bクラス 飯田 匡史 の四選手が参加し、全国各都道府県から選ばれた選手百八十余名と法規履行走行と技能走行に技を競いま

した。当日は、酷暑の炎天下で本県選手は、暑さにめげず、チームワークよく健闘し団体入賞は逃しましたが、個人で一般Aクラスの土屋選手が四位に入賞する好成績を収めました。

TSマークで安全と安心を
一、TSとは「TRAFFIC SAFETY」の頭文字をとった



安全整備料に高い補償保険が付いています

- 死亡・重度後遺障害 一律一〇〇万円
- 賠償責任保険 限度額一、〇〇〇万円
- 傷害保険(31日以上の入院) 一律一〇万円

特にお子さんとあ年よりの自転車には安全保険を
山梨県警察 日本交通管理技術協会山梨支所 山梨県自転車軽自動車商協同組合



- ★全車種(大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許)の免許の取得ができます。
- ★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。
- ★ご希望により送迎もいたします。

財団法人
山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校
中巨摩郡八田村野牛島1828 (運転免許センター内)
TEL (0552) 85-0752

事故写真40枚を展示

グッドライダーフェスティバル



二輪車愛好者等に人間の命の尊さ、交通安全の重要性について認識を深め、運転技術と交通マナーの向上を図り、もっと二輪車の交通事故防止の徹底を図ることを目的として、8月23日「グッドライダーフェスティバル山梨'92」が、甲府市小瀬スポーツ公園において盛大に開催されました。各種イベントが実施され、県交通安全協会では、約40枚の交通事故写真を展示しました。



地区だより



(南甲府)

総力をあげて 死亡事故抑止

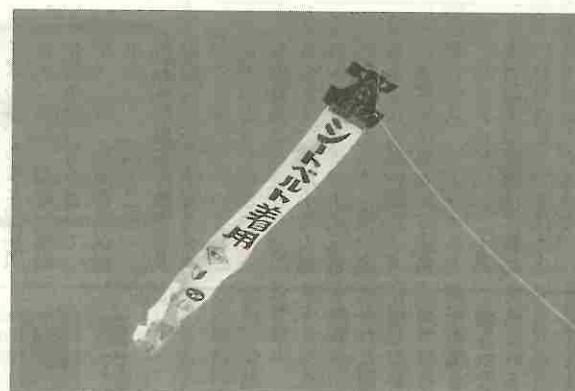
(南甲府)

南甲府警察署管内では、八月四日現在で交通死亡事故が十八件二十名と昨年同期と比べ十四名二三%増という異常な増加振りを示しています。このような憂慮される状況下で、死亡事故の増勢に歯止めをかけるよう管内の市町村をはじめ

空から交通安全をPR

(小笠原)

小笠原安協甲西支部(金丸健彦支部長)は甲西町で



(小笠原)

開かれた甲州風(たこ)揚げ大会に、レーシングカーの形をした風車に「シートベルト着用」などと書き込んだ足をつけて空から交通安全をPRしました。「形が変則で揚がるかどうか不安だった」といっていましたが、風に乗って舞い上がり、「シートベルト着用」の文字がよく目立つPRの効果は満点でした。なお、この風は自由絵画部門で優勝しました。

緊急連絡!!

女性の皆さん大集合

(甲府)

秋の全国交通安全運動の行事の一つとして「家庭における交通安全」をテーマに、次のような大会が開催されます。奮ってご参加ください。

一、日時 9月29日(火)午後2時〜同3時30分

二、場所 甲府市丸の内「県民会館大ホール」

三、主催 甲府市・甲府市教育委員会・甲府警察署

四、協賛 甲府市交通安全指導員会・甲府市老人クラブ連合会・甲府市交通安全協会・甲府交通安全連協管理協議会・甲府交通安全全母の会

五、行事内容

- (一)交通安全体験
- (二)交通事故体験発表
- (三)交通遺児 交通安全
- (四)講演 「家庭における交通安全」 交通評論家 生内玲子氏

ちよっとお目目を

II 夜型生活と安全運転 II

最近、夜間、仕事をされる方が増えています。いきおい深夜、早朝に運転される方も多いいと思います。となると、深夜、早朝の交通事故の多発も当然のことながら懸念されます。事実はそのとおりで、しかも大事故を招いています。

八月初めの深夜、国道で普通乗用車を運転中、居眠りをしたため、道路左側の縁石に接触した後、道路工事現場に突っ込み、工事をしていた作業員を次々とね、死者一人、重軽傷者七人という大事故がありました。

人間は、昼間働いて、夜は休むのが適していますが、

のせましよう ゆとりという名の 同乗者

「主文、被告を懲役一年に処す。被告は...」

「主文、被告を懲役一年に処す。被告は...」

「主文、被告を懲役一年に処す。被告は...」

償い切れない あの一瞬

35歳 会社員

私は動転した気持ちの中で「何にぶつかっただらう。まさか人である筈がない」と祈りながら、子供達の「早く迎えに行かないと、おばあちゃん達が待ってるよ」の声を聞き、気づいた時にはそのままだけに走って行ってしまった。ぶつかった物を確認しなれい、と思いましたが、いつの間にか駅につき、両親を乗せたあとは、もう不安はつのもう一方でした。何もできませ

今、私は、この市原刑務所で深い反省と償いの日々を送っています。実刑を受けても、やり直しの出来る私は、亡くなった被害者の無念さや、どれだけの幸せでしょう。人の尊い命を奪った私には、一生かかっても償いきれないと思いますが、ここを出所した後一般社会で生活して行くに当たり、被害者の悔い福を祈り、ご遺族の温かい心遣いや私の帰りを待っていてくれる妻や子供のためにも、不徳で未熟な私ですが、少しでも信頼される人間になれるよう努力して行きたいと思ひます。

(東京交通安全協会ニュース第三三三三号より)

贖いの日々

62歳の女性を ひき逃げ:

ニュースで62歳の自転車に乗った女性が、ひき逃げされた死亡したと知ったのは、午後11時を過ぎていました。私の起こした事故と直感し、寝ていた妻や両親を起し、頭の中で思いつく事を話して警察へ出頭しました。人の尊い命を奪った私に、その日以降、生活はありません。自分なりに順風満帆と思っていた人生も、大きく変わり、永年勤めた職場も追われることになり、一生暗い影を引きずって行くことになりました。

被害者のご遺族は示談に応じていただいたうえ、殺人者である私に温かい心遣いをいただきました。

市原刑務所で 反省と償いの日々

今、私は、この市原刑務所で深い反省と償いの日々を送っています。実刑を受けても、やり直しの出来る私は、亡くなった被害者の無念さや、どれだけの幸せでしょう。人の尊い命を奪った私には、一生かかっても償いきれないと思いますが、ここを出所した後一般社会で生活して行くに当たり、被害者の悔い福を祈り、ご遺族の温かい心遣いや私の帰りを待っていてくれる妻や子供のためにも、不徳で未熟な私ですが、少しでも信頼される人間になれるよう努力して行きたいと思ひます。